

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ラオス人民民主共和国
2. 案件名	FTC（森林研修センター）を拠点にした森林エコツーリズム事業による雇用創出
3. 事業の背景と必要性	ラオス国は焼き畑などで低下した森林率を回復するため JICA 技プロの支援を受け「森林研修センター」(FTC) を開設し、地域の森づくりへの支援と林業を生業とした生活基盤の向上を図っている。しかしながら、センターの財政基盤の脆弱性などから周辺地域の森林造成は十分実施できているとは言い難く、布製品などの森から生まれる商品の販売拡大支援事業も地域の所得向上に寄与できるまでには至っていない。このため、村民の間には技プロにより造成された森林等を活用した新たな事業「森林エコツーリズム」の導入に対する期待が高まってきている。
4. プロジェクト目標	FTC と村民の協働でエコツアーやものづくりの体験プログラムを提供できるようになる。
5. 対象地域	ビエンチャン県バンビエン郡ファイパモン村
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	ファイパモン村 250 家族 1,100 人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境教育に良い森林エコツアーが創出される。 2. 森林の副産物を利用したモノづくり体験プログラムが創出される。 3. 森林エコツアーやモノづくり体験プログラムを適切に運営管理できる。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1. エコツアーの既存の方法を整理する。 1-2. 既存のエコツアーの課題を明らかにする。 1-3. ツアー対象者（国内外の観光客と児童・生徒）のニーズに合ったツアーを企画する。 1-4. 企画されたエコツアーの実施マニュアルを作成する。 1-5. 企画されたツアーの実証を村民と共同で行う。 1-6. 村民のツアーガイドをマニュアルを使用し育成する。 2-1. 既存の森林副産物を利用した製品の製造方法と課題を整理する。 2-2. モノづくり体験プログラムのニーズを特定する。 2-3. ものづくり体験に必要な森林副産物を特定する。 2-4. ものづくり体験プログラム用の製品を特定する。 2-5. 特定された製品の製造実証を行う。 2-6. 製造実証に基づき製造方法のマニュアルを作成する。 2-7. ものづくり体験プログラム用の展示物・製造道具を整備する。 3-1. 運営管理方法の課題を整理する。 3-2. プロジェクトチームが運営管理事務局を立ち上げる。 3-3. FTC と村人の中から運営管理対象者（リーダーを含む）を選定する。

	<p>3-4. 選定された運営管理リーダーがプロジェクトチームと共に、運営管理（広報を含む）活動計画を策定する。</p> <p>3-5. 活動計画をもとに運営管理（広報を含む）マニュアルを作成する。</p> <p>3-6. 選定された運営管理対象者に対して運営管理（広報を含む）研修を実施する。</p>
8. 実施期間	2022年10月～2024年3月（計18か月）
9. 事業費概算額	4,959（千）円
10. 現地カウンターパート	FTC（森林研修センター）
II. 実施団体の概要	
1. 提案地方公共団体名／団体名	高尾グリーン倶楽部（TGC）
2. 活動内容	高尾山域の国有林、部分林、民有林と契約を結んで、多様で豊かな森林の復元を目標に間伐、除伐、つる切り、木工などの森林整備活動を実施。それらのフィールド及び宿泊研修施設「高尾グリーンセンター」を活用して市民・青少年を対象に森林体験教育と森林ツーリズムを実施